

第16回松本市四賀地域公共交通協議会の開催結果について

1 第16回松本市四賀地域公共交通協議会

(1) 開催日時

平成24年1月31日（火） 10時00分～11時05分

(2) 場 所

四賀支所 大会議室

(3) 会議事項

- ア 第15回協議会の開催結果について
- イ 四賀地域公共交通の利用状況等について
- ウ 四賀地区住民意見交換会の開催結果について
- エ 平成23年度事業の事後評価（案）について
- オ その他

(4) 会議で出された主な意見等

項 目	意 見 等
四賀地区 住民意見交 換会の開催 結果につい て	<p>○ アルピコ交通四賀線のバスの絶対数が少ないという意見も出されたが、アルピコ交通の意見等は。</p> <p>⇒ 営業経費では最大本数という判断をしている。今の利用実態では継続的に提供出来る運行本数。</p>
その他	<p>○ 利用状況がこのままで持続可能とは言えない、持続可能にならなくなればどのような結論になるのか、地域で何かをしなければならないのか。</p> <p>⇒ 皆が普段の生活の中で地域バス、市営バス、アルピコ交通を上手く使い分けて利用し持続していく必要がある。乗って残そうと考えていってほしい。地域内で開く会議等に公共交通機関での移動を考えるなど、地域、町会でも出来るのではないか。</p> <p>○ バスが無くなれば社会問題。地域、町会で観点を变えて、我々の手で残していく。1度利用すると、それが自立性や持続性につながるのではないか。発想の転換をしながら、協議会がそのような方向に持っていくべき。</p> <p>また、統合小学校になれば児童数も加わる。保護者が利用することも良いのではないか。</p> <p>⇒ 住民として何が必要な行為かということを協議会からも発信していかなければいけないのではないか。公共交通システムにどれだけの費用がかかっているか地元の人が認識しなければいけない。地元が一丸となって今運用している交通システムを地元の力で継続的に残して行けるように。その中で事業者、行政の部分で地域の意見を聞いていきたい。</p> <p>○ 社会福祉協議会の立場の中で、地域の中で足の確保が問題になっている。若い方でも市内の病院に行くにはどうしたら良いかというニーズが結構ある。社協のかかわり隊を使い、公共交通の利用に結び付けていく。</p> <p>皆が出来る範囲で考えていけばもっと利用出来るのではないか。</p>